



知識より論理的思考力等の 知能を重視する試験 (知能分野27題・知識分野13題)



受験者の準備負担を
軽減したい場合にお勧めです。
Standard から替えて、Logical を
利用する団体が増えています。

- ▶ 知能分野(文章理解、判断・数的推理、資料解釈に関する能力を問う問題を出題)
- ▶ 知識分野(時事、社会・人文に関する一般知識を問う問題を出題)
- 知能分野では Standard よりも文章理解、判断・数的推理、資料解釈の出題をそれぞれ増やす一方、知識分野では「自然に関する一般知識」の出題がありません。
- Logical-I の難度は従来の教養1や Standard-I よりもやや易くなります。
- Logical-II の難度は従来の教養2・3と同程度です。高校卒業程度の受験者を対象とした試験から、大学卒業程度以上の受験者を対象とした試験まで、幅広くご利用いただけます



従来の教養試験と共通性の高い試験 (知識分野20題・知能分野20題)

- ▶ 知識分野(時事、社会・人文、自然に関する一般知識を問う問題を出題)
- ▶ 知能分野(文章理解、判断・数的推理、資料解釈に関する能力を問う問題を出題)
- Standard-I の難度は従来の教養1と同程度です。大学で学習するような内容を含むことから、大学卒業程度以上の受験者を対象とした試験でのご利用をお勧めします。
- Standard-II の難度は従来の教養2・3と同程度です。高校卒業程度の受験者を対象とした試験から、大学卒業程度以上の受験者を対象とした試験まで、幅広くご利用いただけます。



Lightはこのような場合におすすめです。

- ▶ 民間企業志望者も受験しやすい試験にして応募者を増やしたい。
- ▶ 社会人経験者、中途採用者にも受験しやすい試験にしたい。
- ▶ 人物重視でも、基礎的な知的能力は確認したい。

出題数：60題
形式：四肢択一式
解答時間：75分

出題分野は次の3分野です。

「社会への関心と理解」 (24題)
「言語的な能力」 (18題)
「論理的な思考力」 (18題)

社会への
関心と理解

言語的な
能力

論理的な
思考力

- 解答時間は75分、形式は四肢択一式とコンパクトな試験です。
- 「社会への関心と理解」の分野で出題される問題には、地方公務員として必要な地方自治に関する基礎的な知識を問う問題も含まれます。
- 職種を問わず幅広くご利用いただけます。
- Light は、基礎的な能力を検証するための試験ですので、専門試験や適性検査などと組み合わせてのご利用がおすすめです。